

## 公表 事業所における自己評価結果

公表日

2024年 10月 22日

事業所名 Yくまーす未来春日井

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・利用人数によって、机の配置を柔軟などしてできるだけ広く使えるようにしている	
2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・職員の体調不良等で休みの時には、近隣の店舗や本部からの応援を呼ぶことで職員が少なくならないようにしている	・子どもとの人数が多いため、職員数が少なく感じる部分などもあるかもしれない。 ・人数に対しての職員配置だけでなく、当日の支援内容等によっては少なく感じるところがあるので、増員していきたい
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	6	・事業所内は、段差が内容にしている。 ・エレベーターもついている	
4	生活空間は、着床で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの連の活動に合わせた空間となっているか。	6	6	・活動内容によって、机の配置などを移動できるよになっている	
5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	6	・相談室や更衣室などがグループワークでできるよになっている	
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	6	・毎月行っている	
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	6		・毎年、年に1回行い改善に努めてはいるがなかなか改善されないことや、取り組めていないことも少なくない
8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	6	・毎日朝礼を行い、意見を聞く機会を設けている	
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・法人内での他事業所の職員や本部の職員が行うことはある	・法人外での外部評価は行っていないので、今後できるかどうかではないか
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	・法人内での研修は行うようにしている ・訪問看護との繋がりもあるため、アレルギーマネジメントや性教育などの勉強会を開く予定もある	・外部の研修には行っていないことが少ない。今後、積極的に研修に行くようにしていきたい ・職員が研修に行った時の職員配置などが課題で行っていないところもあるため、今後は行けるように考えていきたい
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	6	・毎月、全員で考えて作っている	
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイケア・ピア計画を作成しているか。	6	6	・モニタリング以外に、日々様子を共有している	・決められた期間以外に、必要と感じた時にすぐに行える体制をとっていきたい
13	放課後等デイケア・ピア計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの課題の利益を考慮した検討が行われているか。	6	6	・作成が完了し、保護者から印鑑をもらったあとに再度確認するようにしている	
14	放課後等デイケア・ピア計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	6		
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーミュラアセスメントや、日々の行動観察なども含むフロンティアアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	6	・全て盛り込んだ計画書を作っている	・5領域の分野を細かくしたアセスメントを活用していきたいが、なかなか作成が難しいのが課題
16	放課後等デイケア・ピア計画には、放課後等デイケア・ピアケアプログラムの「放課後等デイケアの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	6		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	6	・毎月、全員で考えて作っている	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	6	・季節や、その月にあった内容を行うようにしている	
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイケア・ピア計画を作成し、支援が行われているか。	6	6		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	6	・毎日、朝礼を行い前日の活動の様子などをまとめて情報共有している	

適切な支援の提供

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・記録を入力するうえで、気になったことや気づいたことなどを情報共有している	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・基本的には、毎回写真付きで記録を残している	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに必要な判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・最低でも6ヶ月に1回のモニタリングは行っている ・半年経たずに行うこともある。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6			
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・おやつの時間などは、毎回自分で決めるスタイルをとっている	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			・会議は少ないため、今後は力を入れていきたい
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・学校から下校時刻の一覧をもらうことや送迎時に申し送りを受けるなどしている ・希望家庭については、学校の様子を見に行き担任と情報共有をする機会を設けている	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		・送迎時以外で、場を設けて行う機会は作れていないため、今後の課題である
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		・まだ移行した児童がいないが、障害福祉サービス事業所との繋がりは作るようにしている
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		・助言や研修を受ける機会は無かったため、今後必要であれば行っていきたい
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	3	・今年から、ハロウィンに近隣の店舗に協力をお願いしてお菓子の作り歩きを行っている	・児童館を利用することはあるが、交流となるとできていないのが現状。放課後児童クラブも同様。
33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		・参加できていないため、今後力を入れていきたい
34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時に菓子のお土産や情報共有以外にも、必要であればLINEや電話等で連絡を取っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		・ペアレントトレーニングや研修などの機会は作れていない。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に説明している。それ以外でも幼児無償化から利用料が発生するタイミングなど、それまでと違うことがある時にはお伝えするようになっている	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・LINEは24時間受信できるようになっている	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・ヤフコ保護者会を開催できるようにしてきました	・今後は定期的に開催できるように継続をしていきたい
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6			
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・契約時に説明を行っている	

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等

42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月、活動内容を含めて発行している	
43	個人情報情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		・招待ではないが、協力はしてもらっている。 ・回数が多いので、接する機会が増える事が課題
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・災害時の対応表を作成し配布している ・夏休みに災害伝言ダイヤルを使用した引き渡し訓練を行った	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のどもの状況を確認しているか。	6		・朝礼時に、食物アレルギー者の確認を行っている	
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	6			
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
52	ピヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・契約時に説明して同意を得るようにしている	
非常時等の対応					